

地域版

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫



「ゆりかごから墓場まで」地域に根ざす医療を

歯科医師 坂井謙介さん

ベビーカーに乗る赤ん坊だった頃を、患者さんに知られている若き院長先生。祖父の代より四十三年、歯科医院を営んでいる地域密着の歯医者さんである。

坂井歯科医院の明るい院内は常に忙しい。大勢の人がひっきりなしに訪れ、スタッフの足音がぱたぱたと心地よく響く。診療の合間には施設・在宅への往診や、幼稚園などへの検診を行う多忙な日々。多くの患者に出会い、顔は覚えきれなくとも口の中を見ればすぐにその人のことを思い出すという。

◁在宅や施設への往診で診る患者さんは100人近い。口腔ケアや義歯の調節などを行う。



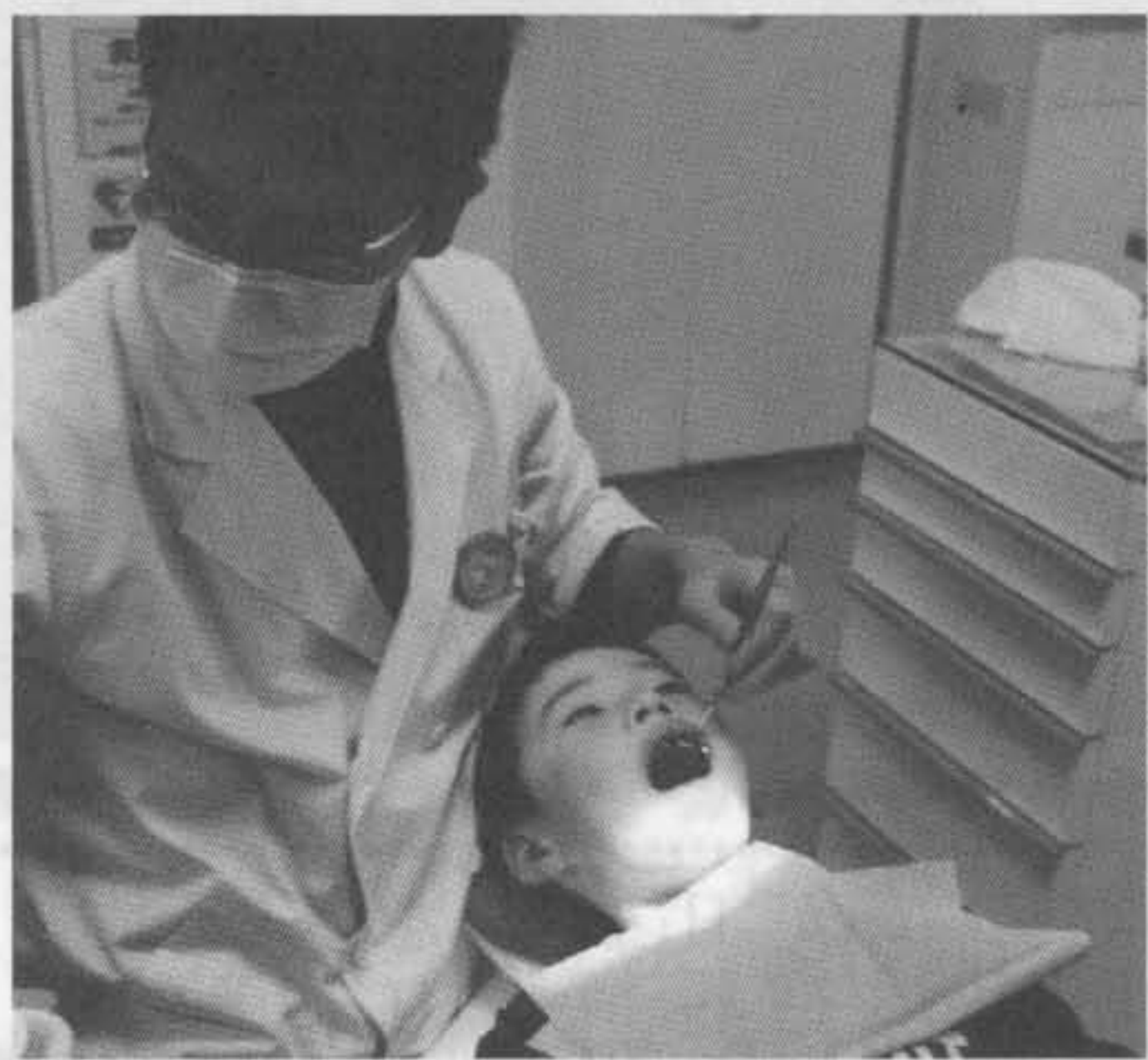
卯月 うづき 四月
卯の花が咲く「卯の花月」、田植えをする「植月」

清明 せいめい 四月五日〜十九日頃
花が咲き空が青く澄み渡り、万物が清らかで生き生きとする

穀雨 こくう 四月二十日〜五月四日頃
地上にある穀物に、天からの恵みである雨がしつとりと降り注ぐ

坂井歯科では一般診療に加えて、訪問診療、障害児者やがん患者の診療、小児歯科、妊産婦の診療にも力を入れる。ひとくちに歯科と言っても生まれてから老いるまで、人間のライフステージと共にその症状は多種多様であり、色々な要素が絡み合っているためだ。歯科だけでは解決できない患者は他の医療機関・医師・コメディカル（医療従事者）の力を借りて診療しなければならぬ。状況に応じて判断し、依頼を出すコーディネーターの役割も果たす。

身体状況や生活環境に関わらず、その患者の生涯を通じて診ていくこと。かかりつけという言葉で目指す診療は決して容易ではないだろう。それでも「引き継いできたから」と笑みを浮かべながら話す、その目に迷いはない。この街で暮らす、暮らしていく、患者さんたちと共に。若き院長先生の挑戦はまだ始まったばかりだ。



▷この日最後の、小さな患者さん。坂井歯科には家族ぐるみで通っている人も少なくないそう。

●坂井謙介さん

歯科医師、坂井歯科医院院長。いりなか商店街発展会会長。診療、講演など多忙な日々を過ごす。自宅に帰れば三男一女が待っている、自他ともに認める「いりなか1のイクメン」。



坂井歯科医院
052-832-5637 名古屋市昭和区隼人町6-7 大光ビル2階
AM9:00~12:00/PM2:00~7:00 (土曜日はPM5:00まで) 休診日 日曜・木曜・祭日